

## 【下郷地区】

# 「人・農地プラン」第1回地域懇談会概要

■ 開催日時等 令和3年12月5日 午後6時から 広陵町役場 大会議室

■ 参加者数 20人（三吉齊音寺方・赤部方・大垣内方、笠）

### ■ 概要

- 1 「人・農地プラン」及びアンケート結果の説明
- 2 ワーキング・グループ（3班）による討議

#### ◆地域の課題

##### 担い手

- 後継者、担い手の不足、いない、見つからない。
- 新規就農者が出てこない。
- 担い手の高齢化
- 農業を教える人がいない。
- 外国人の雇用促進

##### 農地・水

- 農地が小さく耕作条件や効率が悪い。
- 小規模農地を5反以上に拡大する農地整備
- 耕作しやすい、しにくい農地に分けて考えなければならない。
- 山地形の田は、耕作しにくく、機械が入らない。
- 農道は狭く、軽車両しか止められず、機械が入りにくい。
- 農水の流入が悪くポンプアップ費用が嵩み、利水施設の整備
- 水や農地の管理方法及び水利費の決め方
- 水路のゴミ処理の増加
- 農地の売却と耕作放棄地の増加による農地の減少
- 小規模住宅開発により地域の農地が虫食い状態
- 住宅地からの水の流入

##### 営農

- 除草作業は辛く、一人での農作業はきつく、また体力が低下によりつらい。
- 米価は安く、赤字で所得が少なく、割が合わない。
- 生産物の価格が不安定
- 米、野菜の売り場不足
- 生産資材、農機具が高く、農機具の老朽化と購入資金不足による更新不可
- 苦情等により農業がしづらく、農薬散布に気を遣い、またこれまでの農法が出来ず、将来が不安
- 住宅開発（特区）による農業（耕作）への影響と意欲の低下

##### 環境

- ジャンボタニシとウンカ被害
- ゴミの不法投棄
- 新住民と農家との交流
- 農業残渣の処理ルール
- 農業以外の除草剤の流入

##### その他

- 農業に対する政府の支援は少なく、農業に喜びを与える支援が少ない。
- 機械化など農業に対する補助金が少ない。
- 米食離れが顕著、米文化の大切さの周知
- 特区による住宅建設と農地の混在化に対する町の責任
- 国は肥料等の値上げを防ぎ、農作物の価格を上げる。

◆現状と将来の農業者等

現 状

- 自作（土地所有者、家族、個人経営）
- A氏、B氏、C氏、D社
- 農協に稲刈りを委託

将 来

- 自作
- 子供
- A氏、B氏、D社
- 新規就農者や大規模耕作者
- 集落営農組合による稲作の共同作業や米以外の野菜栽培
- 農業法人や農協、株式上場の企業等
- 農家を支援する組織
- 気の合う者との小さな組合
- 若い人に夢を与え、人材を募集
- 集約して、誰かに耕作委託等
- 体力的、経費増により止める。
- 農地の売却又は放置